

朗読と文学の会@鎌倉

茨木のり子2024秋／鶴と權

茨木のり子の詩情世界

特別講演 小泉八雲の文学

第一部 湧く《泉》

小泉八雲と教え子たち

／講演

第二部 翔ぶ《鶴》

茨木のり子の世界

／朗読

第三部 漕ぐ《權》

茨木のり子のひろがり

／舞踏&音楽



2024.9.21(土) 開場 14:30

開始 15:00～ 終了 17:00

鎌倉生涯学習センター／きらら鎌倉
音楽室（2F）

参加費

大人 3,000 円

学生 1,500 円

□事前申込み：ksato@kofuza.org (⇒QR)

090-1268-5882 (佐藤)



鎌倉駅東口から徒歩3分（400 ㍎）

- 主催 朗読と文学の会@鎌倉実行委員会
- 共催 鎌倉共生の会、松戸朗読と文学の会、(一社)洗楓座
- 後援 鎌倉朝日新聞社、東京新聞横浜支局、わがふるさと支援(株)、ほか

企 画 の ご 案 内

「茨木のり子 2024 秋／鶴と樫」を、鎌倉で行うことになりました。

鎌倉は、大仏、円覚寺、建長寺、長谷寺、東慶寺、…。精神性の高い歴史都市です。

著名な作家がたくさん住んでいた文学の都市でもあります。

現代詩の長女と評される茨木のり子は、鎌倉に住んではいませんでしたが、詩情では深いつながりがあると思います。

茨木のり子のその詩情は、次のような特徴があります。

《自己の探求と本質の追求》 《シンプルさと明快さ》 《自然との調和》

これは、日本人の精神文化でもある「禅のこころ」と一致しています。

茨木のり子の詩のひろがりをつくりたいと思います。

この行事では、朗読のほか舞踏と音楽も取り入れ、

さらに普及したいと思います。また、この行事では、

「小泉八雲の教え子たち」という特別講演も企画しました。

多数の方々のご参加と支援をお願いいたします。



企画 青柳浩生
(一社)洗楓座代表

◎茨木のり子 2024／関連行事

春 2・17(土) 命日ははじまり
夏 6・15(土) 誕生月・県民の日記念
秋 9・21(土) ひろがり求めて
冬 12・21(土) 未来につなぐ

一行事内容と出演者—

【第一部／湧く《泉》】 特別講演 「小泉八雲と教え子たち」

□土谷精作 早稲田大学卒業。NHK 社会部記者、その後 NHK 放送文化研究所長。大学で放送論やマスコミ論を講義。鎌倉ペンクラブ副会長・現在顧問。著作に『生きていたサムライ精神—小泉八雲と七人の明治人』等がある。



【第二部／翔ぶ《鶴》】 茨木のり子の世界（朗読）

□松島邦 朗読家・朗読講師・ナレーター。山形県鶴岡市出身、早稲田大学文学部演劇専修卒。NPO 日本朗読文化協会会員。藤沢周平、遠藤周作、平岩弓枝、山本周五郎、小泉八雲などの作品朗読を実践。



□山川建夫 慶応大学を卒業して元フジテレビアナウンサー、モーニングショウの司会の後、退社して千葉県に定住して自然農業を実践。現在、フリーアナウンサー＆司会業のほか朗読講師、執筆活動など。



【第三部／漕ぐ《樫》】 茨木のり子のひろがり（舞踏&音楽）

□ムンロ王子 ハイブリッド・パフォーマー、タロット占い他。東大法学部卒のエンターテナーとして週刊誌&TV に多数出演。戯曲や競馬予想も行う多才多芸。

□本橋映子 横浜市出身。ピアノ、チェロ、フルート、三味線など音楽とのコラボによる朗読会に多数出演。田中泰子主宰の銀の会会員。華道も好きで学生時代に草月流師範取得。



□三浦一壮 1937 年生まれの舞踏家。中央大学卒業後、モダンダンスを全身で表現している。茨木のり子の精神性の表現のため特別出演。

□小森俊明 作曲家・編曲家・ピアニスト。東京藝術大学大学院作曲専攻修了。現代音楽、クラシック、異分野のアーティストとのコラボレーションなど多分野で活躍。コンクールで入選受賞。芸術著作多数。



□引田香織 福岡出身のシンガーソングライター。元アニソン歌手。文学作品や憲法にメロディをのせ歌っています。茨木のり子の詩を弾き語りで表現。現在は、千葉の田園の一軒家で愛児と新生活。

